

2013年6月5日号

発行 若尾きみえと生き生き市民会議 Tel/Fax 042-668-1020 E-mail info88@wakaokimie.jp

<http://wakaokimie.jp> http://twitter.com/wakao_kimie



TOPICS ▶ 前市議会議員 若尾きみえの政策と活動報告

東京をだれもが安心して暮らせる生活都市に！／憲法の講演会に参加して
問われる政治家の資質 橋下発言に八王子市民からも疑問の声が



I. 東京をだれもが安心して暮らせる生活都市に！

6月23日には、都議会議員選挙が行われます。八王子選出の都議では、民主党から自民党に移ってしまった議員もあり、政党政治が混乱する中、人材は流動的です。

国政選挙と連動しがちな都議選ですが、東京をどのような生活都市にしていくのかという視点から、選択していくことが大切です。都政で

は、税金の無駄遣いがまだたくさんあります。そして、政治には、常に利権の問題も潜んでいます。利権政治とは一線を引き、市民生活全体を考えながら、新たなまちづくりのビジョンをめざして、政治改革を進めていく人をぜひ都政に送っていきたいと思います。



◎男性も女性も幸せになれる新しい社会モデルを都政から 子ども・若者・高齢者の安心をつくるために

▶ 少子高齢化時代にふさわしい新しいまちづくりを 応援する都政に

若い世代の就労問題や、保育園待機児問題、高齢者の移動の問題など少子高齢化とともに様々な課題があります。若い世代が安心して働き子育てできる環境や、高齢者が生き生きと元気に暮らせる新しいまちづくりを都政からも応援してほしいと思います。

▶ 三多摩格差の解消を

区部よりも出生率の高い多摩地域で、都立小児病院の統廃合が行われ、NICU（新生児集中治療室）など八王子での小児医療の拠点を失ったことは、大変残念でした。都政の中で、三多摩をきちんと位置づけ、こうした格差を早期に解消していくことが必要です。

▶ 緑を生かしたまちづくり

地球温暖化やヒートアイランド現象が進む中、三多摩地域の緑は重要です。石森市政では、市街化調整区域の利権にからんだ開発問題が出て来きていて

ます。市は、中核市移行を進めていますが、移行後

は、得られた開発権限を活用し、緑の開発も容易にできるようになります。緑を生かしたまちづくりを都政から応援していくことが大切です。

▶ 東京から脱原発を！

政府は経済発展のために、原発を活用する方針です。しかし、福島原発からは今も放射能が出ています。今後も大地震が発生する可能性は否定できない中、原発の安全性は大きな課題です。何よりも原発には、処理しきれない核廃棄物の問題があります。

まずは省エネが重要ですが、省エネ技術を開発しても、資金力のない中小企業は、その技術を流布できていないのが現状です。東京から、省エネ、自然エネルギー、脱原発を推進し、安心のエネルギー政策を進めながら、産業振興につないでほしいと思います。

写真で見る

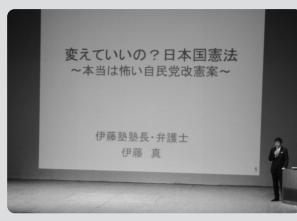
活動報告



◎今年も環境フェスティバルに参加
西南部環境市民会議の展示の前で



◎住宅政策研究会にて 高齢者の元気スタン
ドコミュニティーモールの代表小泉圭司さんと



◎八王子で行われた伊藤真さんの
憲法の講演会に参加



◎まちなか探索隊で、八王子の商店街を
訪問 織物組合のショールームにて